

巻き爪の矯正治療はじまります

形成外科 土屋未央



・巻き爪・痛み

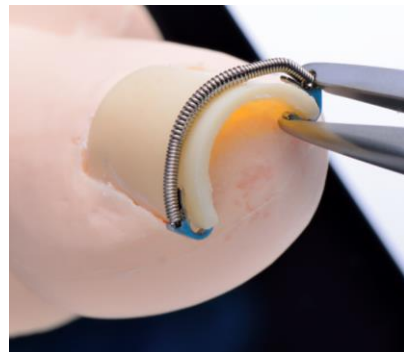


矯正治療で痛みが
改善することがあります。
まずは外来でご相談ください！

爪の変形による痛みは、日常生活に支障がでます。
巻き爪はテーピングや手術加療は保険適応であり、
矯正治療は自費診療となります。
外来で爪の状態を確認し、それぞれの患者さんに
合う治療方法を相談しましょう。

【矯正治療】

・巻き爪マイスター
・リネイルゲル
併用がおすすめです。

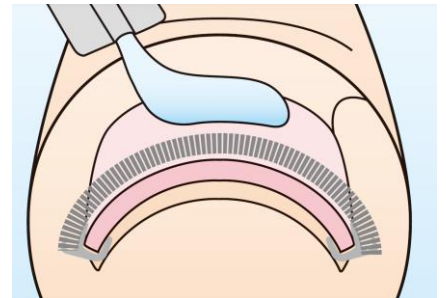


【形成外科外来】

	月	火	水	木	金	土
午前	●	●	—	●	●	●
午後	—	●	—	●	—	—

矯正治療(自費診療)

- **巻き爪に対する矯正治療とは**
矯正器具を使って爪の形を本来の状態に近づけることで、爪による皮膚への圧迫・刺激を防ぐ治療です。施術直後から痛みが取れる場合もあり、巻き爪治療としては第一優先で選択される治療となります。
- **矯正治療の適応となる患者さん**
足の爪が過度に湾曲している患者さんが対象です。装着前に爪幅を測定し、適応したサイズの矯正具を装着します。サイズを大きく外れる患者さんには装着できない可能性があります。また、爪の状態によっては装着いただけない場合もあります。
(例: 爪周囲に炎症がある方、あまりにも爪が短い方(深爪)、爪がもろい方、爪の厚さが薄い方、分厚い方など)
- **矯正具の交換時期**
2週間～3ヶ月の連続装着を想定しています。爪が伸びてきたら、むやみに触らず、装着したまま医療機関を受診してください。
- **日常生活の注意点**
矯正治療中は爪に大きな負荷がかかるスポーツ(水泳、サッカーなど)は出来る限り控えてください。矯正具が外れる可能性があります。
- **外用薬を併用する方法とは？**
一時的に爪をやわらかくする専用の薬剤を矯正具と併用することで治療期間短縮・再発しにくくする方法です。
- **外用薬の特徴**
爪を一時的に軟らかくすることで、爪矯正具の治療効果を高めます。軟らかくなった爪は数日かけて再び硬くなります。爪矯正具により、平たんになったまま爪が再硬化することで、巻きにくい爪になることが期待されます。



治療スケジュール

●初回受診日

爪の診察をし治療方法を相談
矯正治療の予約取得

●矯正治療の日

水・木曜日または木・金曜日
2日連続受診していただきます。

1日目:矯正器具装着
2日目:薬剤洗浄、チェック

●1～2週間後

治療効果を確認します。
矯正器具は患者さんの爪の状況に応じて、
2週間～3ヶ月程度継続します。

巻き爪 矯正治療の料金

巻き爪マイスター単独+リネイルゲル(初回)

合計 15,620円(税込み)

巻き爪マイスター単独(初回)

合計 10,615円(税込み)

再診

再診料(調整量含む) 2,200円(税込み)

※破損などにより、新たに巻き爪マイスター固定具を使用する際には、処置料6,600円(税込み)となります。

※リネイルゲルを再度使用する場合は、処置料5,390円(税込み)となります。